

RPJ News

2018年4月号

特定非営利活動法人(NPO法人)

精神保健福祉交流促進協会 Refresh Project

〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋2-17-7-801

毎月1回発行 E-mail ref-pj@mx5.ttcn.ne.jp

発行責任者：志井田美幸/ 長野敏宏/ 仁木守

連絡先 090-1811-7119

ホームページ <http://www2.ttcn.ne.jp/ref-pj/>

内 容

* 明日を拓く

実行委員 藍田 寿弘

* — これからもぼちぼちがんばりま—す —

実行委員 ・ NPO 法人タンポポの会 安田 真里

* 事務局からのお知らせ

① 2018年度会費のお願い

* 明日を拓く

実行委員 藍田 寿弘

一年の計は穀を樹うるに如は莫し 十年の計は木を樹うるに如は莫し 終身の計は人を樹うるに如は莫し (一年で成果を挙げようとするなら、穀物を植えることだ。十年先を考えるなら、木を植えることだ。終身の計を立てるなら、人材を育てることに尽きる)

これは古代中国の齊の名相・管仲の言で、その著「管子」権修編に記されています。

二千七百年前に説かれた教えですが、今の社会や人材育成(教育)にもつながるものだと考えます。

1980年代初め、林 宗義(Tsung-Yi Lin)先生と谷中先生との対談のなかでカナダにおける精神科医の養成に関する話をふまえながら、林先生は谷中先生に対して、「あなた方が一人でも二人でも学生の実習を引き受ける、その代わり卒業して希望する人があったら私の所にきなさい、そういう具合にひとつのシステムを作ることもモデルの一つだと思います。そういう場をみんなが少しづつ提供して、新しいモデルを作り出す、そうすると他の人もやりだす、そうすることによって、初めて教育の中に実習という場が拓がります。卒業した人が、今まで4年かかったのが2年で、3年かかっていたものが1年で使えるようになる、すると優秀な人がまたやってくる、そういうものを僕はモデルといっているわけです。」これに対し当時の谷中先生は「少しそういうことを自覚して、我々はこの数年動きはじめております。しかし、学生の方で卒業したらすぐにお金がもらえるものだという意識ができていますので、民間の中できつい訓練を卒後教育として受けようという意識が生まれてこない、その辺は少し考えなくてはいけないことだと思います。」と述べておられます。

この対談は1980年代の初めにおこなわれたものですから、精神保健福祉士国家資格や、障害者総合支援法など様々な法律ができた今の状況とは比較できない部分もありますが、現場実践と専門職教育の基本にあるもの、卒後教育の重要性の視点は今後にもつながるものだと考えます。

今日、精神保健福祉士養成の新カリキュラムにおいて、精神科医療機関での実習が必須になり、実習

指導者要件も一定水準を満たさなければならなくなりました。そのことを受け、精神科医療機関・障害福祉サービス事業所・教育機関におけるそれぞれでの取組みや連携が図られるようになりましたが、現状は「実習生を受け入れる精神科医療機関は限定的」である等、林先生が述べておられたようなレベルの専門職養成のシステムがわが国で実現できているかといえば未だ道半ばだと考えています。

さて、私事になりますが、本年 3 月 31 日をもって、専任教員として 6 年間勤務した「京都医療福祉専門学校」を退職し、富山に戻ってまいりました。「教えるとは希望を語ること」「学ぶとは誠実を胸に刻むこと」ということばを聞いたことがあります。この 6 年間、多くの学生の前でどれだけ希望を語れたか、現場実践を踏まえ、日々変化する状況を的確に伝えることができたか、甚だ疑問です。

一方、石神先生、寺田先生、過去には谷中先生、野中先生、更にはダルコ先生等々に講義をいただき、通信・昼間部を含め、毎年、130 名ほどの精神保健福祉士国家試験合格者が誕生しています。

今後は「同じ志をもつ仲間」が一人でも増えることを願い、交流促進協会が設立趣意書の中に込めた「もえつきを防ぐ」という目標を大切にしながら、無理をせず学び続けたいと思っています。

最後になりましたが、ダルコ先生の「ことば」を胸に刻んで卒業していった多くの学生がいます。国家試験に合格し、様々な分野で日々悩みながらも夢を大切にしながら活躍し「明日を拓こうとしている卒業生」にも多く出会うことができました。

こういった様々な縁を作って下さった谷中先生、お世話になった交流促進協会の皆様方に改めて感謝し、お礼申し上げます。

参考文献 谷中輝雄さんを偲ぶ会実行委員会編

「あたりまえの生活の実現をめざして」—谷中輝雄が考えたこと 行動したこと—

アイスブレイク

奈良明日香村を旅して

その日は朝から晴れて、絶好の外出日よりになりました。朝 9 時頃の近鉄電車に乗り、着いたのは 10 時過ぎだと思います。

2 キロほど歩いて橘寺につきました。聖徳太子誕生の地で風は冷たかったのですが、雲一つない青空で、薄墨桜が満開でした。

30 分ほど寺の庭を散策し、次に石舞台古墳に向かいました。橘寺から石舞台古墳までは歩いて更に 30 分ほどです。

石舞台では公園の中はそろそろ春めきはじめて、遠く少し咲きはじめてピンク色の木がありました。

最後に飛鳥寺へ行きました。

飛鳥寺は仏像の写真を撮ることが許され、阿弥陀如来坐像、聖徳太子孝像、本尊飛鳥大仏を拝むことができました。

飛鳥大仏は高さ 275.2 センチメートルとても大きく、609 年開眼説が定説となっています。



日本の故郷とも紹介されている明日香村は田園や緑が広がり、のびのびとして、また行きたい場所の一つです。何より大仏や、阿弥陀如来坐像、聖徳太子孝像には不思議な感動を覚え、明日香村に心のやすらぎを感じた一日でした。



* — これからもぼちぼちがんばりまーす —

実行委員 ・ NPO 法人タンポポの会 安田 真里

精神保健福祉に足を踏み入れて、30年が過ぎた。何人の当事者の方と出会い、いろんな話を語り、一緒に悩んだらう。ほぼ全員の方の名前と顔を覚えているなあ。

Mさんが19歳の時初めて出会い、1年前に結婚され、先月出産され、出産に立ち会った。涙がこぼれた。Mさん、36歳。17年の間、大量服薬を数え切れない程繰り返し、何度アパートに行き、病院に付き添ったらう。そんな彼女の、赤ちゃんを抱いている今の幸せな顔を見ていたら、私の人生、これで良かったな、と思っているところです。

話しは変わりますが、岡山はA型事業所がとても多いのですが、最近次々と倒産(計画倒産?)し、当事者の方が困惑されています。私は、以前からA型の運営はどうなっているんだろう、と疑問に思っていて、儲かるから、と参入してきている事業所の考えや、タンポポからA型に移られる方も多いので、やり取りがあるのですが、何度も、なんか違うなあ、と出てきました。誠実に運営されている所だけが残っていくのが望ましい、と思います。

写真は、昨年12月に、「こころのアート展 & 大西暢夫写真展」を開いたものです。今回は、初めて三障害合同の企画にしました。聾学校の生徒さん、知的障害の方の作品、他の事業所の方の作品を展示しました。障害の壁を越えることが大事だと思ったからです。

普段接触のない聾学校の先生や生徒さんとの交流ができ、自閉傾向のある知的障



害の方の大胆な書道と絵画との出会いも素敵でした。アート作品に囲まれてのヴァイオリン演奏も素晴らしく、来て下さった皆さんに喜ばれました。そして何より、精神科病院に入院されている方などを撮り続けておられる大西暢夫さんにまたまた来ていただき、会場でタンポポの利用者の方と家族の方・大切な方との写真を撮ってもらい、すぐに現像して壁に貼っていく、という感動的な体験をしました。皆さん今まで見たことがない程の笑顔で



撮ってもらいました。この写真は忘年会の時に、額に入れて一人一人に渡しました。大西暢夫さんはとても心あたたかい方で、タンポポのみんな、すぐに心を開いて仲良くなっています。

下の写真は、地元のテレビ局がしのさん取材に来た日の物です。岡崎しのさんはアスペルガー障害とADHDと気分障害のある方で、イラストレーターでもあります。アスペルガーの理解を深めてほしい、と自分のことを絵本にしたりされているのですが、ヘルプマークの認知を高めたい、と自らテレビ局に電話し、取材に至りました。今は、当事者の方が自ら行政などに働きかけ、思いを発信し、社会を変えていく時代だと思います。



私自身も精神保健福祉手帳を持つ当事者です。昔、谷中先生に背中を押される言葉をいくつもかけてもらいました。その言葉を胸に、これからも自分の考えと当事者の皆さんの思いを大事に活動していきたいです。・・・この原稿書いている2日後から沖縄にリフレッシュに行ってきます。楽しんできます。



* 事務局からのお知らせ

① 2018年度会費納入のお願い

会員の皆様にご会費のお願いをさせて頂きました。是非今年度もご協力いただけますよう宜しくお願い申し上げます。



ー編集後記ー 今月も寄稿有難うございます。肩の力を抜いてくれるような優しい報告を頂きました。世の中はゴールデンウィークに入り9-10日という連休の話題ですが、多くの皆様はそこまでの休みは取れず日々格闘されていることと思います。協会主催の「十勝・帯広の精神保健・医療・福祉を掘り下げるセミナー」の開催が迫っておりますが、まだ若干余裕がありますので、日々の頑張りのご褒美も兼ねて帯広にお出でになりませんか？申込お待ちしております。(m.niki)

特定非営利活動法人 精神保健福祉交流促進協会 TEL090-1811-7119